



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 エフピコ

コード番号 7947 URL <http://www.fpco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 守正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部本部長

(氏名) 瀧崎 俊男

四半期報告書提出予定日 平成22年11月9日

配当支払開始予定日

TEL 084-953-1145

平成22年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	66,151	5.0	6,621	13.3	6,829	13.6	4,003	15.0
22年3月期第2四半期	63,002	△2.2	5,844	56.9	6,010	53.3	3,480	49.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	191.95	—
22年3月期第2四半期	166.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	148,210	62,318	42.0	2,989.22
22年3月期	137,720	59,808	43.4	2,860.36

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 62,294百万円 22年3月期 59,736百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	50.00	—	52.00	102.00
23年3月期	—	58.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	52.00	110.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,000	14.5	13,700	15.2	14,000	14.6	8,240	15.8	395.39

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、  
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 22,142,106株 22年3月期 22,142,106株  
② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,302,490株 22年3月期 1,257,985株  
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 20,858,770株 22年3月期2Q 20,883,747株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第2四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や企業の業況感に引き続き緩やかな改善がみられるものの、所得や雇用情勢は依然として厳しい状態で推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、販売面におきましては、製品売上数量が汎用製品及び軽量化製品の拡販、新製品の上市等により前年同期比107.3%となり、消費が冷え込む中でも大きく続伸いたしました。製品売上高は、前期の第1四半期連結累計期間に実施した製品の値下げの影響があったものの、前年同期比105.0%となりました。

一方、商品売上高は、平成22年4月1日より消耗品・包装資材の調達に強みをもつユカ商事(株)より事業を譲受け、商品取扱量の拡大に努め、前年同期比105.0%となりました。

この結果、売上高は661億51百万円、前年同期に比べ31億49百万円の増収（前年同期比105.0%）となり、第2四半期連結累計期間としては過去最高の売上高となりました。

利益面におきましては、製品売上数量の増加及び新製品の採用が好調なこと、製品の軽量化、素材切替、製品アイテム数の絞込み、さらには生産及び物流をはじめとした当社グループ全体でのコスト改善も加わり、これら利益改善は総額32億円となり、前年同期に比べ11億円の原材料コスト増加、当第2四半期連結累計期間までではありませんが、前期に実施した製品値下げによる利益への影響額9億円、その他経費の増加等あったものの経常利益は68億29百万円、前年同期に比べ8億19百万円の増益（前年同期比113.6%）、四半期純利益は40億3百万円、前年同期に比べ5億23百万円の増益（前年同期比115.0%）となり、第2四半期連結累計期間としては過去最高益となりました。

なお、平成22年4月より東海選別センターが稼働、6月より新福山ピッキングセンターが稼働、さらにはフィルムメーカーである(株)アルライトが平成22年6月1日より連結子会社に加わり製品開発の強化を進めております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,482億10百万円となり、前連結会計年度末に比べて104億90百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金36億15百万円増加、受取手形及び売掛金の34億99百万円増加、商品及び製品6億86百万円並びに有形固定資産合計44億19百万円などの増加、その他流動資産16億42百万円などの減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて79億80百万円増加し858億92百万円となりました。これは主に買掛金32億27百万円増加、短期借入金及び長期借入金合計75億21百万円などの増加、未払法人税等10億83百万円、その他流動負債16億99百万円などの減少によるものであります。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べて25億10百万円増加し623億18百万円となりました。これは、利益剰余金29億17百万円の増加、その他有価証券評価差額金2億57百万円減少、自己株式1億1百万円の純増にともなう純資産の減少によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より36億15百万円増加し、147億18百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、57億93百万円（前年同期は58億17百万円の資金獲得）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益67億46百万円と減価償却費42億76百万円及び仕入債務の増加20億1百万円などによる資金の増加、売上債権の増加20億24百万円及び法人税等の支払額33億74百万円などによる資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、ピッキングセンター及び工場の生産設備等固定資産の取得による支出54億11百万円などにより、45億16百万円（前年同期は56億27百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により増加した資金は、借入金等の純増加額52億90百万円とリース債務の返済による支出15億60百万円及び配当金の支払額10億84百万円などにより、23億43百万円（前年同期は48億43百万円の支出）となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原材料価格動向に加えて、景気は足踏み状態が続く、依然として先行き不透明な状況が予想されます。平成23年3月期の連結業績につきましては、平成22年8月9日に修正公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、平成22年10月1日には関東を中心に事業展開する包装資材問屋インターパック㈱、12月1日には鶏卵パックをはじめとした農産品向け容器を製造販売するダイヤフーズ㈱が連結子会社となる予定です。また、平成22年11月には中部リサイクル工場のリニューアルと全国9ヶ所への選別工場の展開が終了し、新しいリサイクルネットワークが稼動を始めます。さらに同月には、中部リサイクル工場内においてPETのメカニカルリサイクルプラントが稼動いたします。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### 2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響は軽微であります。

(企業結合に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,718	11,102
受取手形及び売掛金	30,849	27,350
販売用不動産	12	12
商品及び製品	11,348	10,661
仕掛品	69	31
原材料及び貯蔵品	1,263	1,097
その他	4,297	5,940
貸倒引当金	△67	△90
流動資産合計	62,493	56,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,879	29,154
機械装置及び運搬具（純額）	6,374	5,350
土地	24,808	23,962
リース資産（純額）	10,424	10,737
その他（純額）	5,047	4,911
有形固定資産合計	78,535	74,116
無形固定資産	1,856	1,350
投資その他の資産	5,325	6,147
固定資産合計	85,717	81,614
資産合計	148,210	137,720
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	16,750	13,523
短期借入金	17,334	12,995
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	2,426	3,509
賞与引当金	1,476	1,414
役員賞与引当金	47	86
その他	8,316	10,016
流動負債合計	56,352	51,545
固定負債		
長期借入金	18,562	15,380
退職給付引当金	1,613	1,511
役員退職慰労引当金	1,005	954
その他	8,357	8,520
固定負債合計	29,539	26,366
負債合計	85,892	77,911

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,150	13,150
資本剰余金	15,497	15,497
利益剰余金	37,344	34,426
自己株式	△4,006	△3,905
株主資本合計	61,985	59,169
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	308	566
評価・換算差額等合計	308	566
少数株主持分	24	72
純資産合計	62,318	59,808
負債純資産合計	148,210	137,720

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	63,002	66,151
売上原価	43,504	45,935
売上総利益	19,497	20,216
販売費及び一般管理費	13,653	13,595
営業利益	5,844	6,621
営業外収益		
受取利息	28	10
受取配当金	43	49
補助金収入	230	253
負ののれん償却額	52	17
その他	169	207
営業外収益合計	524	538
営業外費用		
支払利息	325	247
コマーシャル・ペーパー利息	0	7
その他	31	75
営業外費用合計	358	330
経常利益	6,010	6,829
特別利益		
固定資産売却益	0	1
貸倒引当金戻入額	—	54
賞与引当金戻入額	35	32
受取保険金	11	21
その他	0	14
特別利益合計	48	125
特別損失		
固定資産除売却損	109	152
減損損失	52	—
和解金	—	56
その他	4	—
特別損失合計	166	208
税金等調整前四半期純利益	5,891	6,746
法人税、住民税及び事業税	2,904	2,337
法人税等調整額	△499	404
法人税等合計	2,405	2,741
少数株主損益調整前四半期純利益	—	4,004
少数株主利益	6	1
四半期純利益	3,480	4,003



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,891	6,746
減価償却費	4,075	4,276
減損損失	52	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	216	△35
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35	△39
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20	△63
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	211	51
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	60	80
固定資産除売却損益 (△は益)	108	151
受取利息及び受取配当金	△72	△59
支払利息	326	255
和解金	—	56
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,174	△2,024
たな卸資産の増減額 (△は増加)	757	18
未収入金の増減額 (△は増加)	△301	△145
仕入債務の増減額 (△は減少)	406	2,001
その他	206	△1,864
小計	8,751	9,404
利息及び配当金の受取額	72	59
利息の支払額	△320	△262
法人税等の支払額	△2,694	△3,374
和解金の支払額	—	△56
その他	8	21
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,817	5,793
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,180	△5,411
無形固定資産の取得による支出	△351	△138
投資有価証券の売却による収入	—	22
投資有価証券の償還による収入	—	500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△115
長期貸付けによる支出	△394	△52
長期貸付金の回収による収入	495	467
その他	△196	211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,627	△4,516
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,000	△200
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	5,000	—
長期借入れによる収入	5,000	13,000
長期借入金の返済による支出	△6,250	△7,509
自己株式の売却による収入	26	—
自己株式の取得による支出	△1	△2
リース債務の返済による支出	△1,716	△1,560
配当金の支払額	△898	△1,084
少数株主への配当金の支払額	△3	—
その他	—	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,843	2,343
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,654	3,615
現金及び現金同等物の期首残高	16,108	11,102
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,454	14,718

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。